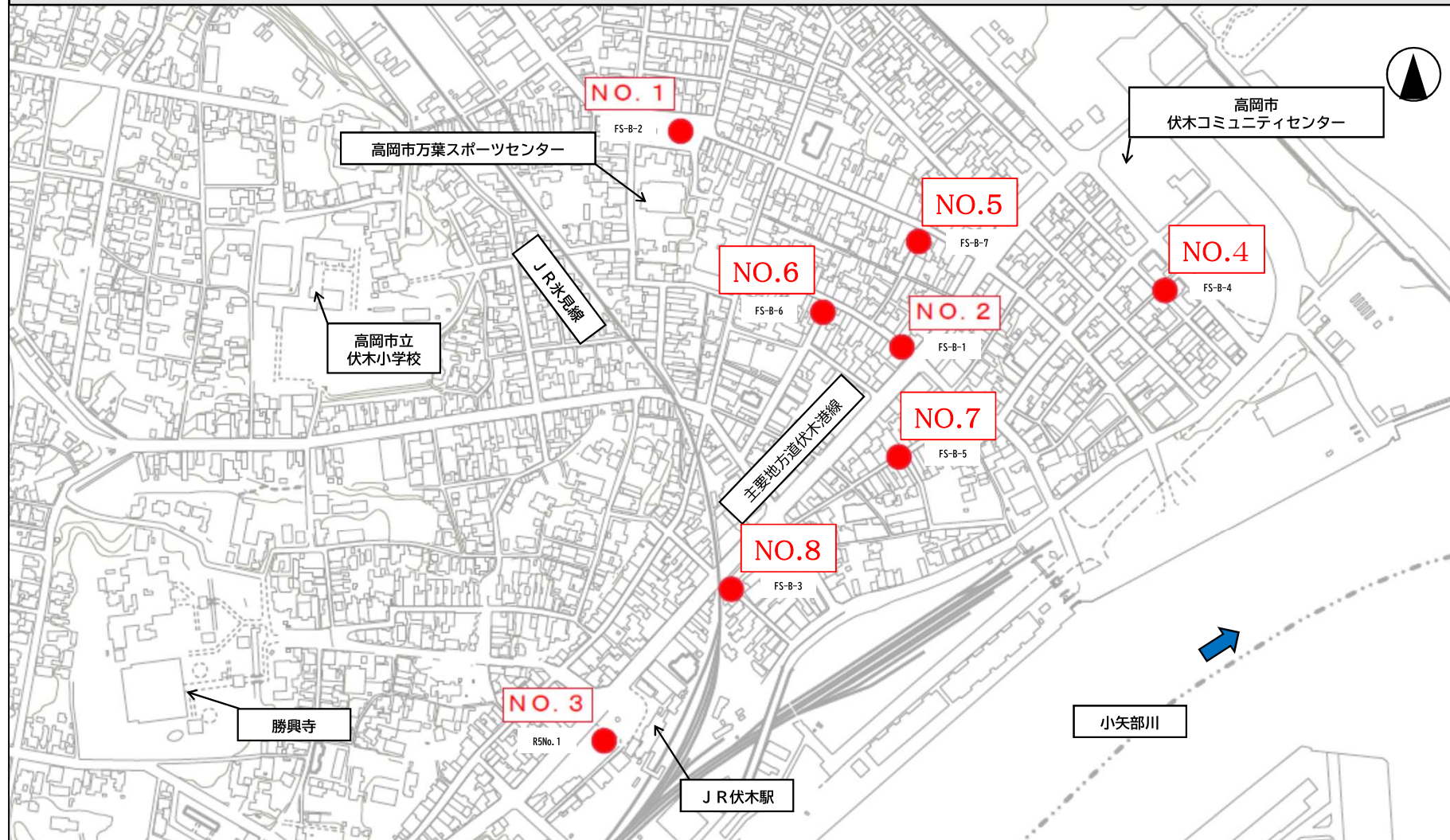


伏木地区 ボーリング調査位置図

NO. 1～3 令和6年8月13日 掲載
NO. 4～8 令和7年1月31日 掲載



土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 高岡市液状化対策検討業務委託

事業または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		FS-B-1		調査位置		富山県高岡市伏木錦町地先				北緯		36° 47′ 43.410″			
発注機関		富山県 高岡市				調査期間		2024年05月29日～2024年06月04日				東経		137° 03′ 37.433″	
調査業者名				主任技師				現代場人		コ定者				ボーリング責任者	
孔口標高		T P 1.48m		角 180° 上 下 90° 方位 北 0° 270° 西 180° 南 90° 東 地盤勾配 鉛直 水平 0° 90° 使用機種 試錐機 <td colspan="4">TOHO D-1</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td>		TOHO D-1									
総削孔長		20.45m				度		0°		エンジン		ヤンマーNFD13		ポンプ	

[illegible]

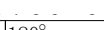
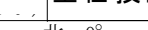
ボーリング柱状図

調 査 名 伏木駅前地質調査業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シート No

ボーリング名	R5No.1				調査位置		高岡市伏木古国府 地内						北緯	35°41'25.42"	
発注機関	高岡市未来政策部総合交通課						調査期間		令和6年3月19日～6年3月25日				東経	139°45'58.06"	
調査業者名				主任技師		現代理人		コア鑑定者				ボーリング責任者			
孔口標高	KBM -0.15m	角 上 下 度		方 向		地盤勾配		使用機種	試錐機	YBM-05DA2型		ハンマー 落下用具	半自動落下装置		
総掘進長	20.45m								エンジン	ヤンマーNFAD10		ポンプ	カノV5		

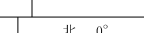
[illegible]

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

令和 6 年能登半島地震を受けた市街地における液状化災害の再発防止に向けた対策調査業務（その 2）

事業または工事名

調査目的及び調査対象 道路 地震・耐震

ボーリング名	FS-B-6				調査位置	富山県高岡市伏木中央町地先							北緯	36° 47′ 44.0699″				
発注機関	国土交通省（建設）					調査期間	2024年11月15日～2024年11月18日							東経	137° 03′ 35.2257″			
調査業者名					主任技師				現代場人				コ鑑定者			ボーリング責任者		
孔口標高	T P 1.61m	角 度		方位		地盤勾配		使用機種	試錐機	YBM YBM-05								
総削孔長	20.45m								エンジン	YANMAR NFD10-M					ポンプ	YBM GP-5		

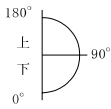
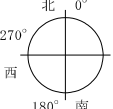
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記述	孔内水位／測定月日	標準貫入試験						試料採取			室内試験	原位置試験	削孔月日																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
											深度－N値図				N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数						打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度 (m)	試料番号	採取方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
											0	100	200	300																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	1.41	0.20		盛土(砂礫)		灰褐			アスファルト6cm、φ10～30mm程度の垂円～垂角礫主体である。 粒子均一な細砂で、含水は少ない。φ5mm程度の礫を少量混入する。	11/16 1.31																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 令和6年能登半島地震を受けた市街地における液状化災害の再発防止に向けた対策調査業務（その2）

事業または工事名

調査目的及び調査対象 道路 地震・耐震

ボーリング名		FS-B-5		調査位置		富山県高岡市伏木錦町地先					北緯		36° 47′ 39.6928″								
発注機関		国土交通省（建設）					調査期間		2024年11月05日～2024年11月16日			東経		137° 03′ 37.9588″							
調査業者名					主任技師					現代理人				コア鑑定者				ボーリング責任者			
孔口標高		T P 1.34m		角 度		方位		地盤勾配		使用機種	試錐機		TOHO D-0								
総削孔長		20.45m									エンジン		YANMAR NFD10-EK			ポンプ		KANO V6-B			

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験										試料採取			室内試験	原位置試験	削孔月日		
											深度－N値図				N値 (m)	深度 (m)	100mmごとの打撃回数			打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度 (m)				試料番号	採取方法
											0	10	20	30			40	50	60									
1	0.29	1.05		盛土(礫混じり砂)	暗褐				GL-0.15mまでアスファルトである。細砂主体で全体的にφ2～40mm程度の垂角礫が混入する。部分的に黒褐色を呈す。	11/8 1.18																11/5		
2				盛土(細砂)	褐茶褐	rd3			粒子均一な細砂である。含水量は中位である。所々にφ5～30mm程度の垂角礫が混入する。				11.0	2.15	4	4	3	11	300	2.15	FS5-D-2	-	土粒子含水比粒沈降					
3	-1.61	2.95							GL-2.50m以深、茶褐色を呈す。				11.0	2.45						2.45								
4				礫質砂	暗灰	rd3			砂は中～粗砂で、粒子は不均である。含水量は多い。GL-3.00m付近、φ50mm程度の礫が混入する。全体的にφ2～20mm程度の礫が多く混入する。				11.0	3.15	3	4	4	11	300	3.15	FS5-D-3	-	土粒子含水比粒沈降		11/7			
5									GL-4.35m付近、φ40mm程度の垂円礫が混入する。				12.0	3.45						3.45								
6	-4.66	6.00		砂礫									12.0	4.15	5	4	3	12	300	4.15	FS5-D-4	-	土粒子含水比粒沈降					
7	-5.26	6.60				暗灰	rd3		砂は中～粗砂で、粒子は不均である。含水量は多い。最大礫径はφ70mm程度である。全体的に細礫が多い。若干の中砂が混入し、粒子はやや不均一。				9.0	4.45						4.45								
8	-6.66	8.00		細砂		暗灰	rd3		含水量は多い。GL-7.60m付近、中粗砂およびφ2～5mm程度の礫が多く混入する。GL-7.95～8.00m間、有機物が混じる粘土質シルトを挟む。				15.0	5.15	6	2	1	9	300	5.15	FS5-D-5	-	土粒子含水比粒沈降					
9				シルト質細砂		暗灰	rd3		砂の粒子は微細である。含水量は多い。不規則にシルト分が混入する。				15.0	5.45						5.45								
10	-8.66	10.00				暗灰	rd3		GL-7.95～8.00m間、有機物が混じる粘土質シルトを挟む。				19.0	6.15	4	6	5	15	300	6.15	FS5-D-6	-	土粒子含水比粒沈降		11/8			
11						暗灰	rd3		GL-9.60～9.70m間、砂礫を挟む。				20.0	6.45						6.45								
12						暗灰	rd3		比較的に粒子均一な細砂である。含水量は中位である。所々に若干の中粗砂が混入する。所々にφ5mm程度の垂円礫が少量混入する。				20.0	7.15	6	6	8	20	300	7.15	FS5-D-7	-	土粒子含水比粒沈降					
13						暗灰	rd3		含水量は多い。GL-7.60m付近、中粗砂およびφ2～5mm程度の礫が多く混入する。GL-7.95～8.00m間、有機物が混じる粘土質シルトを挟む。				19.0	7.45						7.45								
14						暗灰	rd3		砂の粒子は微細である。含水量は多い。不規則にシルト分が混入する。				19.0	8.15	5	7	7	19	300	8.15	FS5-D-8	-	土粒子含水比粒沈降		11/9			
15						暗灰	rd3		砂の粒子は微細である。含水量は多い。不規則にシルト分が混入する。				20.0	8.45						8.45								
16	-14.71	16.05				暗灰	rd3		GL-9.60～9.70m間、砂礫を挟む。				20.0	9.15	8	6	6	20	300	9.15	FS5-D-9	-	土粒子含水比粒沈降					
17	-15.66	17.00		粘土		暗灰	rd3		比較的に粒子均一な細砂である。含水量は中位である。所々に若干の中粗砂が混入する。所々にφ5mm程度の垂円礫が少量混入する。				27.0	9.45						9.45								
18	-16.51	17.85		砂質粘土		暗灰	rd3		比較的に粒子均一な細砂である。含水量は中位である。所々に若干の中粗砂が混入する。所々にφ5mm程度の垂円礫が少量混入する。				45.0	10.15	6	10	11	27	300	10.15	FS5-D-10	-	土粒子含水比粒沈降					
19	-17.96	19.30		細砂		暗灰	rd4		GL-14.00～14.80m間、微細砂である。下部は微細砂が多い。GL-14.50～14.60m間、若干のシルト分が混入する。				45.0	11.15	11	17	17	45	300	11.15	FS5-D-11	-	土粒子含水比粒沈降					
20	-18.66	20.00				暗灰	rd4		GL-14.00～14.80m間、微細砂である。下部は微細砂が多い。GL-14.50～14.60m間、若干のシルト分が混入する。				37.0	12.15	8	14	15	37	300	12.15	FS5-D-12	-	土粒子含水比粒沈降		11/14			
21	-19.11	20.45		粘土		暗灰	rd4		GL-14.00～14.80m間、微細砂である。下部は微細砂が多い。GL-14.50～14.60m間、若干のシルト分が混入する。				40.0	12.45						12.45								
22						暗灰	rd4		GL-14.00～14.80m間、微細砂である。下部は微細砂が多い。GL-14.50～14.60m間、若干のシルト分が混入する。				40.0	13.15	8	15	17	40	300	13.15	FS5-D-13	-	土粒子含水比粒沈降					
23						暗灰	rd4		GL-14.00～14.80m間、微細砂である。下部は微細砂が多い。GL-14.50～14.60m間、若干のシルト分が混入する。				28.0	13.45						13.45								
24						暗灰	rd4		GL-14.00～14.80m間、微細砂である。下部は微細砂が多い。GL-14.50～14.60m間、若干のシルト分が混入する。				28.0	14.15	6	10	12	28	300	14.15	FS5-D-14	-	土粒子含水比粒沈降					
25						暗灰	rd4		GL-14.00～14.80m間、微細砂である。下部は微細砂が多い。GL-14.50～14.60m間、若干のシルト分が混入する。				42.0	14.45						14.45								
26						暗灰	rd4		GL-14.00～14.80m間、微細砂である。下部は微細砂が多い。GL-14.50～14.60m間、若干のシルト分が混入する。				42.0	15.15	9	16	17	42	300	15.15	FS5-D-15	-	土粒子含水比粒沈降					
27						暗灰	rd4		GL-14.00～14.80m間、微細砂である。下部は微細砂が多い。GL-14.50～14.60m間、若干のシルト分が混入する。				13.0	15.45						15.45								
28						暗灰	rd4		GL-14.00～14.80m間、微細砂である。下部は微細砂が多い。GL-14.50～14.60m間、若干のシルト分が混入する。				13.0	16.15	3	6	4	13	300	16.15	FS5-D-16	-	土粒子含水比粒沈降液塑性					
29						暗灰	rd4		GL-14.00～14.80m間、微細砂である。下部は微細砂が多い。GL-14.50～14.60m間、若干のシルト分が混入する。				19.0	16.45						16.45								
30						暗灰	rd4		GL-14.00～14.80m間、微細砂である。下部は微細砂が多い。GL-14.50～14.60m間、若干のシルト分が混入する。				19.0	17.15	4	6	9	19	300	17.15	FS5-D-17	-	土粒子含水比粒沈降液塑性		11/15			
31						暗灰	rd4		GL-14.00～14.80m間、微細砂である。下部は微細砂が多い。GL-14.50～14.60m間、若干のシルト分が混入する。				9.0	17.45						17.45								
32						暗灰	rd4		GL-14.00～14.80m間、微細砂である。下部は微細砂が多い。GL-14.50～14.60m間、若干のシルト分が混入する。				9.0	18.15	2	3	4	9	300	18.15	FS5-D-18	-	土粒子含水比粒沈降液塑性					
33						暗灰	rd4		GL-14.00～14.80m間、微細砂である。下部は微細砂が多い。GL-14.50～14.60m間、若干のシルト分が混入する。				19.0	18.45						18.45								
34						暗灰	rd4		GL-14.00～14.80m間、微細砂である。下部は微細砂が多い。GL-14.50～14.60m間、若干のシルト分が混入する。				19.0	19.15	3	6	10	19	300	19.15	FS5-D-19	-	土粒子含水比粒沈降液塑性					
35						暗灰	rd4		GL-14.00～14.80m間、微細砂である。下部は微細砂が多い。GL-14.50～14.60m間、若干のシルト分が混入する。				25.0	19.45						19.45								
36						暗灰	rd4		GL-14.00～14.80m間、微細砂である。下部は微細砂が多い。GL-14.50～14.60m間、若干のシルト分が混入する。				25.0	20.15	7	8	10	25	300	20.15	FS5-D-20	-	土粒子含水比粒沈降		11/16			
37						暗灰	rd4		GL-14.00～14.80m間、微細砂である。下部は微細砂が多い。GL-14.50～14.60m間、若干のシルト分が混入する。				25.0	20.45						20.45								

